

AUN Jコラボレーション企画リリース第2弾！

石井竜也・大黒摩季・タケカワユキヒデ・鈴木瑛美子の参加決定！
森崎ウィンからH ZETT Mまで、かつてない豪華ミュージシャンが参加！

数々の世界遺産公演で絶賛を浴びた
「AUN Jクラシック・オーケストラ」
10周年記念コラボアルバム&ツアー
参加アーティスト全10組を発表！

ハートツリー株式会社（本社：東京都港区）は、昨年デビュー10周年を迎えた、世界で活躍する、和太鼓、箏、尺八、篠笛、三味線、鳴り物のみで構成された**AUN J（アウンジェイ）クラシック・オーケストラ**が、デビューから10年間でご縁のあった、著名ミュージシャンの皆様を中心としたコラボレーションアルバム「響（ひびき）～THE SOUNDS OF JAPAN～」を発売します。

参加ミュージシャンは、以下の通り。

2019年1月から始まった米米CLUBが大盛況の中、5月からはソロツアーを開催するなど、精力的な活動を続ける「**石井竜也**」さん、現在、全国ツアー開催中の「**大黒摩季**」さん、ビューティフル・ネームが40周年であることからご縁あり、ご一緒する「**タケカワユキヒデ**」さん、最強ゴスペル女子高生として話題となり、先日メジャーデビューが発表された「**鈴木瑛美子**」さん。

第1弾リリースで発表したのは、ワシントンDC桜フェスティバルで共演した「**渡辺美里**」さん、題名のない音楽会で一緒した「**石丸幹二**」さん、9年前に共演し、昨年秋にも一緒した、超絶技巧のピアニスト・音楽家「**H ZETT M**」さん、ミャンマーでも大人気で、スピルバーグ監督の映画「レディ・プレイヤー1」でハリウッドデビューし、昨年ブレイクを果たした「**森崎ウィン**」さん、沖縄出身の歌姫「**上間綾乃**」さん、連弾のピアノが人気の斎藤兄弟の「**レ・フレール**」さん。

計10組の豪華ボーカリスト、ピアニストが、CDに参加！

アルバム全10曲中6曲は、新たな歌詞で生まれ変わったAUN Jクラシック・オーケストラのオリジナル。これらの楽曲に豪華ボーカリスト陣が新しい命を吹き込み、和楽器の演奏にのせて「**希望と勇気**」を伝えます。万葉集の時代から続く「和」の音に、現代の歌手たちの声を乗せ、聴く者の心に新しい「**ふるさとの音が響く**」、「令和」時代の幕開けにふさわしいアルバムとなっています。

また、特別協賛に、出光興産株式会社・昭和シェル石油株式会社様として、5月4日浅草花劇場での森崎ウィンさんとのコラボレーションコンサートをスタートに、コラボミュージシャンとのコンサートを開催。世界遺産でのコンサート含む計8公演を予定。

今回は、浅草での「**森崎ウィン**」さん、銀座での「**タケカワユキヒデ**」さんとのコラボコンサートについて、詳細を発表いたします。

■アルバム概要（※5月2日ジャケット写真更新）

- タイトル：「響 ～THE SOUNDS OF JAPAN～」
- 演奏：AUN Jクラシック・オーケストラ
- 発売日：2019年6月12日（水）
- 定価：3,000円（税別）
- 発売元：ハートツリー
- JAN：4560314711437
- 品番：HT-021



□収録曲順（※5月2日加筆修正）

1. **From The Far East ～令和への路～ feat.大黒摩季**（作詞：大黒摩季 作曲：尾上秀樹）
→AUN J 尾上秀樹作曲の「From The Far East」に大黒摩季さんが書き下ろし！
2. **Don't Cry feat.森崎ウィン**（作詞：森崎ウィン 作曲：井上公平/ UMAR/ME）
→AUN Jオリジナル曲に、森崎ウィンさんが歌詞を書き下ろし！
3. **桜小道～yoshinomori～ feat.鈴木瑛美子**（作詞・作曲：山田路子）
→桜の名所、吉野町の応援歌。
4. **Geometric Life with H ZETT M**（作曲：井上公平/H ZETT M）
→新曲を、H ZETT MとAUN Jの井上公平の共作で。
5. **ビューティフル・ネーム feat.タケカワユキヒデ**
→今年40周年を迎える名曲を、和楽器でアレンジ、コラボレーション！
6. **青い薔薇の心 feat.石井竜也**（作詞：石井竜也 作曲：市川慎/石井竜也）
→AUN J 市川慎作曲の「青い薔薇」に書き下ろし！
7. **みらい feat.上間綾乃**（作詞：秋元勇気 作曲：井上公平）
→当アルバムのための書き下ろし曲です。
8. **万殊の灯りに想いを馳せて feat.レ・フレール**（作曲：石垣秀基）
→AUN Jオリジナル曲に、ピアノを乗せて。
9. **光ひとつなるとき～ONE ASIAより～ feat.石丸幹二**
（作詞：井上良平 作曲：井上公平）
→アンコールワット公演で絶賛された、ONE ASIAを石丸幹二さんが歌います。
10. **故郷 feat. 渡辺美里**（作詞：高野辰之・作曲：岡野貞一）
→和楽器×渡辺美里さんと、故郷を歌い上げます。

計10曲。

■コンサート概要 「響 The Sounds of Japan Tour 2019」
特別協賛 出光興産株式会社・昭和シェル石油株式会社

1. 森崎ウィンさんコラボ！

- 日時 2019年5月4日(土) 15:00/18:30開演 昼夜2公演。
- 場所 浅草花劇場 東京都台東区浅草2-28-1
※浅草花やしき内に2019年5月にオープンする劇場。
- コラボレーションゲスト 森崎ウィンさん
- チケット価格 前売 5000円 立ち見 4500円
- 主催 ハートツリー
- 協力 スターダストプロモーション
- チケットお問い合わせ キョードー東京 TEL: 0570-550-799
(平日11:00-18:00 / 土日祝 10:00-18:00)
- チケット 発売中

2. タケカワユキヒデさんコラボ！

- 日時 2019年7月26日(金) 19:00開演
- 場所 観世能楽堂 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階
- コラボレーションゲスト タケカワユキヒデさん
- チケット価格 前売 6000円
- 主催 ハートツリー
- 協力 アメニティ
- チケットお問い合わせ キョードー東京 TEL: 0570-550-799
(平日11:00-18:00 / 土日祝 10:00-18:00)
- チケット発売日 / 2019年6月15日(土) AM10:00~

その他、上記3公演、世界遺産コンサートを含む、計8公演を予定しています。
開催場所、期日情報については、随時発表してまいります。

□「AUN」クラシック・オーケストラ」プロフィール

『音楽には、国境はないが国籍はある』

和太鼓・三味線・箏・尺八・篠笛・鳴り物。通常一緒に演奏されることのない和の楽器を再編成し独自の音楽性を追究する、2008年結成された和楽器のみのユニット。各楽器の第一線で活躍する邦楽家8人が集結し、一級の古典技術と新世代の感性を兼ね備えた、聞きやすく誰にでも楽しめる楽曲は、他の和楽器グループにはない独自の世界観を作り上げている。

伝統と革新を高いレベルで両立させたクオリティとパフォーマンス性は、海外においても高い評価を得ており、**世界初のフランス・モン＝サン・ミッシェル内でのライブ演奏**など、世界遺産での公演多数。2013年には**アンコールワット公演**を皮切りに、2016年までASEAN全10カ国を巡り、各国民俗楽器アーティストとの「ONE ASIAジョイントコンサート」を成功させる。アメリカでも、2014年大リーグボストンレッドソックスの本拠地**フェンウェイパークにての合衆国国歌演奏**、ワシントンD.C.桜祭りオープニングステージで演奏。

国内では、2015年東京ドームでの君が代演奏をはじめ、**伊勢神宮や薬師寺**など日本を代表する名所にて公演多数。メディアは、BS日テレで7年連続の2時間特番、eテレ「にほんごであそぼう」、「題名のない音楽会」など多数出演。子どもたちに日本文化を伝える活動として、全国300校超の小学校を訪問、和楽器演奏と桜を植える活動も実施。日本文化の普遍性や多様性を国境を超えて発信することで、世界が音楽でつながるための挑戦を続けている。



□「石井竜也」プロフィール



茨城県北茨城市出身。高校卒業後、画家を目指し上京。米米CLUBとしての活動を経て、映画監督、各種プロデュース、オブジェ創作などを含め、音楽活動を軸にソロ・アーティストとして活動中。

'01年9・11のアメリカ同時多発テロをきっかけに、'02年から愛と平和を願うアート・インスタレーション「GROUND ANGEL」を主宰、故郷も被災した'11年の東日本大震災発生からは、被災者支援を軸とした活動を行っている。'15年にはアーティスト活動30周年の節目を迎え、日本武道館でのスペシャル・コンサートを開催。'16年、GROUND ANGELは15周年を迎え、'18年、新たな試みとして、演劇とコンサートの融合である和のエンターテインメントコンサートツアー「陣 JIN」に挑戦し、全34公演開催。

'19年、1月から4月まで米米CLUBのツアーを経て、5月からソロツアー「OH! ISHII LIVE (オイシイライブ)」を開催するなど、還暦を迎える一年として、精力的な活動を続けている。

□「タケカワユキヒデ」プロフィール

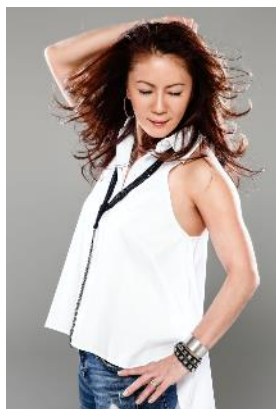


1952年さいたま市生まれ、東京外国語大学（英米語学科）卒業

人気ロックグループ<ゴダイゴ>（1976年結成）を経て、『ガンダーラ』『モンキーマジック』『銀河鉄道999』『ビューティフル・ネーム』など数々のヒットソングをもつソングライター・シンガー。作曲家・歌手・ライブ・音楽プロデュースなどの他、その活動は多岐にわたる、2006年、結成30周年を機にバンド<ゴダイゴ>が再始動、その質の高い音楽センスと柔軟で繊細な感性を生かしソロでの活動も盛んで、近年ではシルクロードの旅をイメージしたコンセプトCDアルバム「SILK ROAD〜ガンダーラより愛をこめて」、そしてここ数年間は季節ごとに自身の「僕のソングブック」シリーズのLIVE-CD等をリリースし続けている。

2019年は<ゴダイゴ>結成43周年となり、ますます精力的な活動を展開している。

□「大黒摩季」プロフィール



札幌市出身、1992年「STOP MOTION」でデビュー。

「DA・KA・RA」を始め「あなただけ見つめてる」「夏が来る」「ら・ら・ら」などのミリオンヒットを放ち、1997年の初ライブでは有明に47,000人を動員する。

2010年病気治療のためアーティスト活動休業。2016年8月、ライジングサン・ロックフェスティバルでの出演を皮切りに、故郷である北海道から活動を再開。

11月にはベストアルバム「Greatest Hits 1991-2016」をリリースした。

2017年5月より25周年イヤー突入、2018年5月まで全国47都道府県を回るツアー85本を完走した。12月5日には8年ぶりとなるオリジナル・アルバム「MUSIC MUSCLE」をリリースし、全国8都市で

「Winter's Dinner Live Tour」を開催。

2019年3月より、再び全国ツアーを展開中！

□「鈴木瑛美子」プロフィール



1999年5月16日生。

幼少期から家族と共に音楽に囲まれる環境のもと、7歳の時から作詞・作曲も始め、様々なステージ、テレビ出演やCD音源収録にも参加する。

2015年7月 高校1年生の時「全国ゴスペルコンテスト(ゴスペル甲子園)」にてボーカル部門優勝。2016年9月 テレビ朝日「関ジャニ∞のTheモーツァルト音楽王No.1決定戦」にて

“最強ゴスペル女子高生”として話題となる。

2017年2月「湖池屋」ポテトチップスのTV CMに出演。

CMソングである「100% SONG」のMUSIC VIDEOが動画サイトで再生回数150万回を突破する。

2017年 7月 LINE RECORDS第一弾アーティストとして「みんな空の下」(カバー曲)を発表。

2017年9月 FINAL FANTASY XVオンライン拡張パック:戦友 主題歌「Choosing Hope」を歌唱。

2017年10月 「WBA世界ミドル級タイトルマッチ」村田諒太VSアッサン・エンダム戦にて国歌独唱。

2018年5月 映画「恋は雨上がりのように」(主演：小松菜奈/大泉洋)の主題歌「フロントメモリー」(カバー曲)を歌唱。

2019年4月 令和元年でのメジャー・デビューを発表。

第1弾発表 コラボミュージシャンプロフィール

□「渡辺美里」プロフィール



1985年デビュー。翌年「My Revolution」がチャート1位となり、同年8月、女性ソロシンガーとして日本初となるスタジアム公演を西武スタジアムにて成功させる。以降20年連続公演という前人未達の記録を達成し、渡辺美里の活動の中でも代名詞的な存在となる。2005年西武スタジアムに終止符を打った翌年からは、毎年「美里祭り」と題し、様々な都市でLIVEを開催。渡辺美里の活動は音楽だけにとどまらず、ラジオのパーソナリティー、ナレーション、2012年、2014年はミュージカル「アリス・イン・ワンダーランド」で不思議の国を支配する『ハートの女王』を演じるなど、様々な分野にチャレンジし続けている。そしてデビュー30周年を迎えた2015年は、19枚目のオリジナルアルバム『オーディナリー・ライフ』を携え47都道府県で「美里祭り」を開催。2016年1月、30周年の集大成と31年目のスタートとして、横浜アリーナでの公演を大成功させ、春からはオーケストラとのコラボレーションによるコンサートを全国で開催。2017年、2018年は精力的に全国コンサートツアーを行い、各種イベントにも多数出演した。今年、4年ぶりとなる「美里祭り」を6月15日、日比谷野外大音楽堂で行うことが発表され、来年デビュー35周年を迎えるにあたり、オリジナルアルバムの発売、2年にまたがる大規模な全国ツアーを計画中である。

□「石丸幹二」プロフィール



東京音楽大学でサクソ、東京藝術大学で声楽を学ぶ。1990年、ミュージカル『オペラ座の怪人』（劇団四季）のラウル子爵役でデビュー、劇団の看板俳優として、『美女と野獣』、『ウエストサイド物語』等に出演する。2009年に退団後もミュージカル界をけん引する俳優として『ラブ・ネバー・ダイ』『ジキル&ハイド』『パレード』などに主演する。音楽活動は、ソロアルバム「My Favorite Songs」「My Musical Life」等のほか、リユート奏者つのだたかしの「武満徹のうた」をリリース。映画「サウンド・オブ・ミュージック」製作50周年記念盤ではトラップ大佐役を吹替えた。多彩にコンサートを展開する一方で、テレビ朝日「題名のない音楽会」の司会を初め、NHK「うたコン」、フジテレビ「ミュージック・フェア」など、大人が楽しめる音楽番組に多数出演。クラシック音楽とは「朗読」に関わることが多く、ストラヴィンスキー「兵士の物語」では、サイトウ・キネン・フェスティバル（Vn郷古廉）、宮崎国際音楽祭（Vn徳永二男）、ル・ポン国際音楽祭（Vn榎本大進）等に出演するほか、ストラヴィンスキー指揮盤「兵士の物語」に新たに日本語朗読を収録。東京フィルハーモニー交響楽団のグリーグ／劇付随音楽「ペール・ギュント」（指揮・ミハイル・プレトニョフ）で全編をひとりで朗読するなど、声の表現の多様性を探っている。

□「森崎ウィン」プロフィール



1990年生まれ、ミャンマー出身。小学校4年生の時に日本へ渡る。2008年よりダンスボーカルユニット・PrizmaXのメインボーカルとして活躍中。俳優としても様々な映画に出演し、2014年には『シェリー』で映画初主演を務める。2018年、日緬共同制作映画『My Country My Home』に出演、そのスピンオフであるドラマ版『My Dream My Life』では主演を務め、現地のテレビ局mntvで冠番組を持つなど、ミャンマーで大ブレイク。また、スティーブン・スピルバーグ監督『レディ・プレイヤー1』のオーディションでメインキャストであるダイトウ/シロウ役に抜擢され、ハリウッドデビューを果たした。2019年には、史上初の快拳となる〈直木賞〉（第156回）と〈本屋大賞〉（2017年）のW受賞を果たし映像化不可能と言われた、現代を代表する作家の一人、恩田陸の名作『蜜蜂と遠雷』の実写映画にメインキャストであるマサル・C・レヴィ・アナートル役での出演が決定している。

□「上間綾乃」プロフィール



沖縄県出身。7才から唄三線を習い始め、19才で琉球国民謡協会教師免許取得。2017年師範免許取得。沖縄民謡で培った声をベースに、聴く者の心を揺さぶってやまない深い表現力の圧倒的なステージを繰り広げる。久方ぶりに現れた沖縄が育んだ大器として、今後の活躍が大きく期待される実力派唄者である。海外アーティストとのコラボレーションも積極的に行う。メジャーデビュー5周年の2017年「タミノウタ」CD発売。

□ 「H ZETT M」 プロフィール



ピアニスト/エンターテイナー/音楽家

超絶技巧に加え、“無重力奏法”と形容される超人的パフォーマンスは実験音楽と高度な芸術性が融合している。

この時代だからこそ生身の人間の可能性を追求し、ただひたすらに音楽を奏でるというテーマのもと、グランドピアノ1台と彼の体だけでの全26曲レコーディングを収録したアルバム『未来の音楽』、『魔法使いのおんがく』を2012年と2013年に立て続けに発表、2017年に同シリーズの最新アルバム『共鳴する音楽』を発表した。

これらの作品を機に始まったピアノ1台だけの“独演会スタイルライブ”は、時にシニカルでユーモア溢れる彼の人間性が現れ、彼の一挙手一投足にまで満員の観客が釘付けになる。

並行して活動しているトリオ編成によるバンド“H ZETTRIO”とは一味違ったその世界観は各方面から好評を得ている。

□ 「レ・フレール」プロフィール



斎藤守也（さいとうもりや・兄）と斎藤圭土（さいとうけいと・弟）の兄弟によるピアノデュオ。

兄弟ともにルクセンブルク国立音楽学校に留学。ガーリー・ミュラー氏に師事し、クラシック・ピアノを学ぶ。コンポーザー・ピアニストとしてオリジナル楽曲の制作とライブを両軸に活動。故中村とうよう氏（音楽評論家）に「斎藤守也・圭土の音楽は、いま世間一般に流通するどの音楽ともまったく似ていない。（『芸術新潮』2008年11月号）」と評された独創的な楽曲とピアノプレイスタイル「キャトルマンスタイル」を兄弟二人で確立。2本の手では成し得ない演奏法を4本で探りながらできた、そのプレイスタイルは他に類をみない。2017年9月に5枚目となるアルバム『Piano Infinity』

（Universal Music）をリリース、アルバムをたずさえたツアーを行う。

結成時から続けている保育園や幼稚園での演奏活動や、災害復興を機にプロジェクト化した「こどもたちへの音楽支援活動」を全国各地で行うなど、次世代のこどもたちへの芸術文化発展にも大きな力を注ぎ、「レ・フレール」という唯一無二の音楽ジャンルを形成しながら世界に向けて発信しつづけている。